

松山港におけるクルーズ船の寄港促進に向けた 課題と対応

松山WG

目次

・課題1	：	効果的な誘致活動	2
・課題2	：	クルーズ船の効果的な受入体制	3
・課題3	：	クルーズ船旅行客に対する観光情報サービスの適切な提供	4
・課題4	：	CIQ手続き時の旅客負荷	5
・課題5	：	国際埠頭施設への大型バス等受け入れのための対応	6
・課題6	：	港湾貨物とクルーズ船との競合	7
・課題7	：	クルーズ船の大型化に対する港湾施設の対応	8
・課題8	：	クルーズ船受入に対する航行安全性の確認	9

課題1:効果的な誘致活動

【課題】

クルーズ船誘致のためには、クルーズ船社と直接面談する商談会への積極的な参加をはじめ、船社、旅行会社等の訪日の機会を利用したPRや、地元へ招待するなど、あらゆる機会を通じた誘致活動が求められる。

また、クルーズ船誘致のためには、地元観光業者、飲食店、レクリエーション施設等、多様な地元関係者が魅力的な観光地に育てていけるよう、クルーズ船の誘致への関心を高める必要がある。

【対応】

短期:・商談会への積極的な参加。←愛媛県・松山市

・地元のクルーズ船への関心を高めるために、新聞、テレビ、自治体の広報紙、ホームページ、ダイレクトメールを活用し、市民へクルーズ船入出港スケジュールとイベント情報を発信。←愛媛県・松山市

中長期:・松山の魅力を活かすとともに、しまなみ海道のサイクリングツアーなど、周辺の観光資源と連携したクルーズプラン等の提案などによる誘致活動を実施。←愛媛県・松山市

・国内外の船社・旅行代理店を通じたPR、海外クルーズ船社の寄港決定者を地元へ招待してPR。また、初寄港となるクルーズ船については、港湾部局の技術担当職員同行の下でPRを実施。←愛媛県・松山市

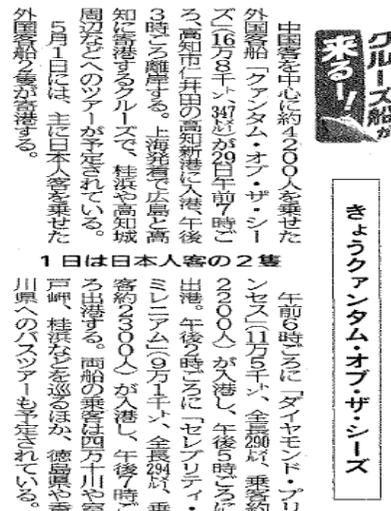
【クルーズ船への理解・関心を高める取組例】

例)地元生徒と乗船客の交流を図るため、学生のボランティアによる外国語を用いた案内等を実施。

【情報発信】

- ・高知新聞では、クルーズ船寄港前に寄港情報が毎回掲載。
- ・寄港時の歓送迎、交通渋滞、商店街等へクルーズ船旅客への対応などに活用。

四国新聞(朝刊) 平成29年4月27日(木)【21面】



しまなみ海道サイクリング

全国公募展「瀬戸内の魅力〜フォト&メッセージ」100選の入選作品より。

課題2:クルーズ船の効果的な受入体制

【課題】

クルーズ船の旅客の港に対する好感度を高め、クルーズ船の寄港の増加・定着につなげていくため、官民が一体となって誘致や受入体制の充実を図るための推進体制の構築が必要である。

例えば、クルーズ船寄港時にクルーズ船旅行者による港や背後地へのアクセス向上や、大型クルーズ船寄港時において大量のバス・タクシーの確保が必要となる場合がある。

また、クルーズ船旅行者の港への印象度を高めるために、市民やボランティア団体などによるおもてなしの充実も求められる。



【対応】

短期:・クルーズ船の積極的な誘致や入港から出港までを通じたおもてなしの一層の充実等に取り組むため、官民からなる推進体制を構築。
← 地元関係者

【受け入れサービスの充実例】

- 例) 最寄り駅までのシャトルバスの運行。
- 例) 各観光箇所と一般来場者用に必要となる駐車場を事前確保。
- 例) 大型船寄港時には、バス・タクシーの他県への要請を実施。
- 例) 路面電車・JR等の一日乗車券、埠頭内での外貨両替を実施。

【受け入れサービスの充実例】

- 例) オプションバスツアーの市街地周遊により引き起こされる渋滞を緩和する方策の検討。
- 例) 「クルーズファンクラブ」を創設し、会員等を活用した観光案内通訳者の養成。



高松商業高校書道部による書道パフォーマンス



「高知城」に配置された着物姿のボランティアガイド

課題3:クルーズ船旅行客に対する観光情報サービスの適切な提供

【課題】

クルーズ船旅行客の満足度を向上させるためには、旅行客のニーズの高い環境を整備していくことが求められる。訪日外国人からのWi-Fi環境の要望は非常に高い上、Wi-Fi環境が整っていると、クルーズ船旅行客による情報発信が促進され、全世界へのPRに繋がる可能性もある。

また、旅客の利便性向上のために、主要な観光施設までの多言語表記の標識等の設置が望まれる。

【対応】

短期:・クルーズ船着岸が想定されている岸壁においては、モバイル型Wi-Fi機器の準備等必要な対応を図る。【松山港外港地区岸壁(-10m)】←愛媛県・松山市

・主要駅、バス停、集客施設等を中心に周辺観光案内の多言語表記の標識を設置する。←愛媛県・松山市

【円滑なコミュニケーション促進例】

- 例) タクシー車内での英語の「指差しシート」の配布、多言語表記の観光マップの作成・配布。
- 例) 飲食店のメニュー多言語化支援
- 例) 情報端末機器を活用した着地情報の発信

【Wi-Fi対応】



宇和島港:クルーズ船寄稿時にWi-Fiを提供。クルーも利用(宇和島市が用意)

【多言語表記対応】

高松:多言語表記の案内板



課題4: CIQ手続き時の旅客負荷

【課題】

松山港外港地区岸壁(-10m)は、旅客ターミナル等の施設がないため、CIQ手続きを屋外で実施せざるを得ず、旅客への利便性が損なわれている。



【対応】

短期:・クルーズ船寄港の際は、港湾管理者(愛媛県)においてCIQ手続きを行うための仮設テント等の用意等必要な対応を図る。←愛媛県

【船内でのCIQ待ちの状況(下船時)】



乗船(帰船)時の乗船待ちの状況
(2016.6.29高知港 クァンタムオブザシーズ)

【船外でのCIQ手続き】



船外の埠頭に税関業務を行うために設置されたテント
(2016.6.29高知港 クァンタムオブザシーズ)

【乗船(帰船)時の乗船待ち】



課題5: 国際埠頭施設への大型バス等受け入れのための対応

【課題】

松山港外港地区岸壁(-10m)は、国際船舶・港湾保安法に基づく保安対策のため、立ち入り制限区域を設けている。クルーズ船寄港の際は、大型バスや一般市民が安全に埠頭内に入ることができるように、制限区域のレイアウト変更の調整が必要。

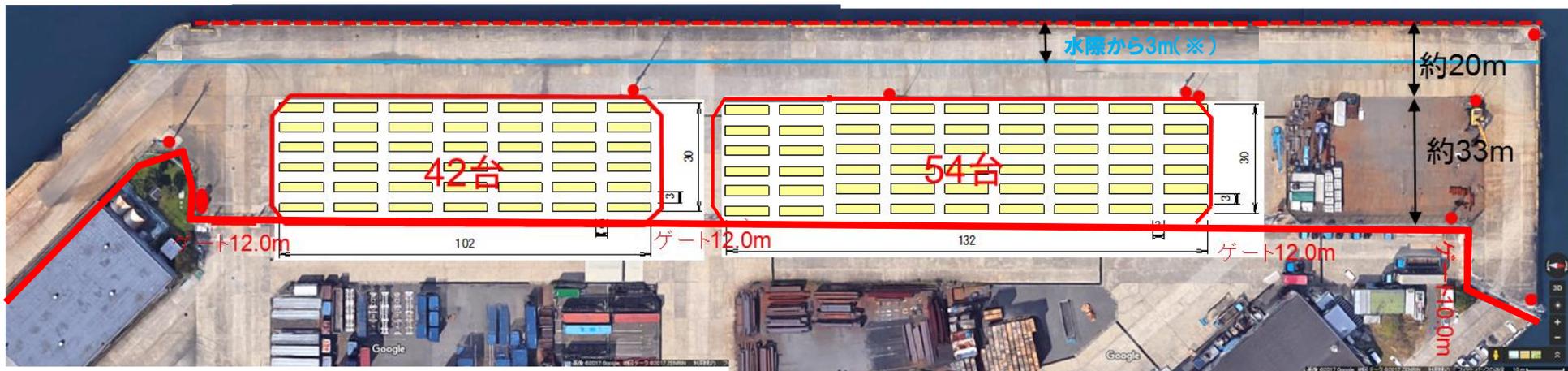
【対応】

短期: 外航クルーズ船寄港の際は、大型バスや一般市民が安全に埠頭内に入ることができるように、港湾管理者が四国地方整備局と協議し、「埠頭保安規程」を変更するなどにより、仮設フェンスの用意等必要な安全措置を講ずる。
←愛媛県・四国地方整備局

SOLAS施設(フェンス、ゲート、バリケード)のレイアウト案

L=290mのクルーズ船を想定した場合

岸壁(-10m)



※離隔距離について、四国地方整備局と要調整



制限区域のレイアウト変更により、クルーズ船近くで歓送迎が可能となった宇和島港

<凡例>

- 観光バス(12m×2.5m)
- フェンス及びゲート
- 簡易SOLASバリケード

課題6：港湾貨物とクルーズ船との競合

【課題】

松山港外港地区岸壁(-10m)は、RORO船、PCC船が利用しているため、クルーズ船着岸にあたっては利用者との調整が必要。
松山港高浜地区岸壁(-8m)は、毎日フェリーが利用しているため、クルーズ船着岸にあたっては利用者との調整が必要。

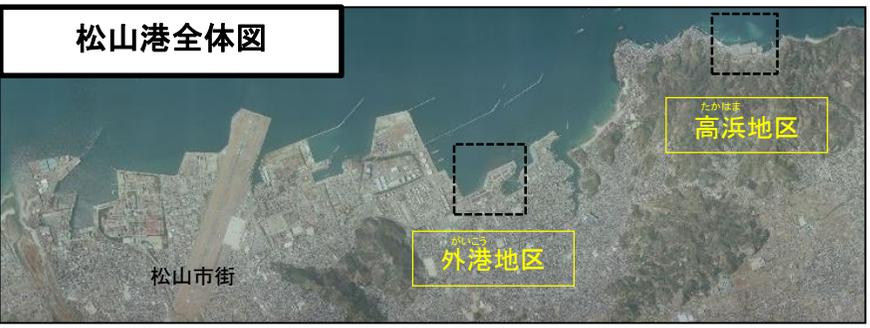


【対応】

短期:クルーズ船社等から寄港要請があり次第、港湾管理者は速やかに岸壁利用者(船社・荷主・港運関係者等)に情報提供するとともに、クルーズ船寄港日を決定するための日程調整を行う。←愛媛県

貨物船用岸壁 (水深-10m、延長370m)

- 【RORO船】
■東京・博多航路(1便/週)
(毎週木曜2:10~5:10)
- 【自動車専用船】
■横浜、名古屋、北九州等(不定期)
(豊昇丸、豊徳丸 不定期)
(ダイハツ丸 毎週月・水・金16:00~17:00)



フェリー (水深-6.0m、延長160m)

- 松山~広島(10便/日)
6:25~22:25(毎日)



フェリー (水深-8m、延長238m)

- 松山~小倉(1便/日)
21:55~5:00(毎日)



高速艇 (水深-6.5m、延長207m)

- 松山~広島(12便/日)
7:00~22:08(毎日)



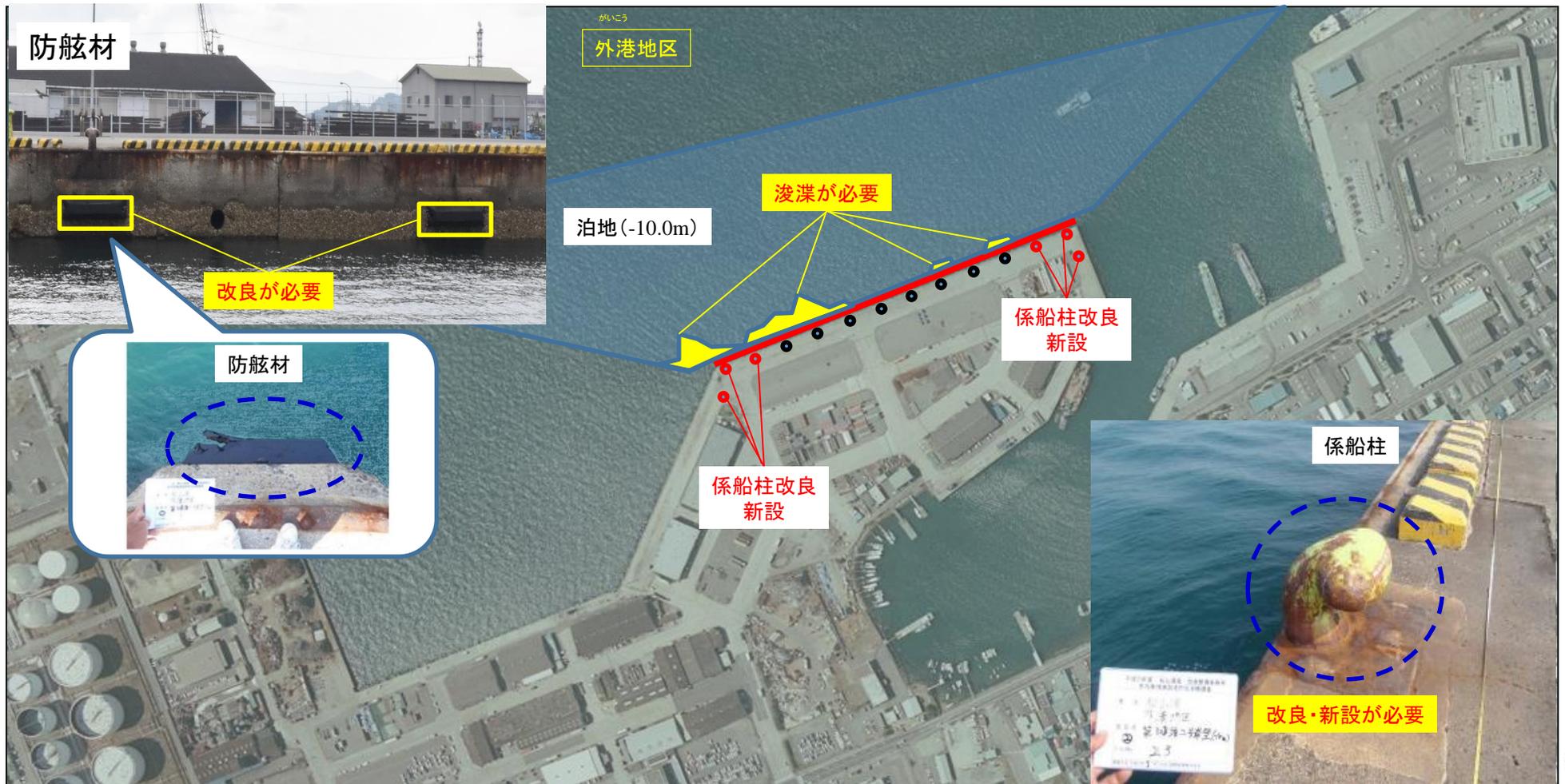
課題7:クルーズ船の大型化に対する港湾施設の対応

【課題】

松山港外港地区岸壁(-10m)において、10万トン以上の大型のクルーズ船を受け入れるためには、係船柱・防舷材の改良および泊地浚渫が必要。

【対応】

短期:・大型のクルーズ船(10万トン以上)を受け入れられるよう、必要となる係船柱・防舷材の改良および泊地浚渫について、関係機関が協力して2018年内に整備する。←愛媛県・松山市・四国地方整備局



課題8:クルーズ船受入に対する航行安全性の確認

【課題】

クルーズ船が安全に入出港できるよう、泊地や岸壁延長等の施設規模や船舶操縦性等、航行安全上の技術的な確認をするとともに、利用者との調整を図る必要がある。



【対応】

短期:・入港する船舶の船型が明らかになり次第、必要に応じ、航行安全性を確認し、必要な措置を講ずる。
←愛媛県・四国地方整備局

入港出来る船舶は最大延長330m程度

航行安全検討項目(例)



	項目
利用施設寸法と入港 予定船舶寸法の確認	水深
	岸壁延長340m
	水域(泊地2L確保)
付帯施設確認(1)	接岸時の係船柱・防舷材の耐力
付帯施設確認(2)	停泊時の係船柱・防舷材の耐力
入出港経路(航路～ 泊地(回頭)～離接 岸)の安全対策確認	入出港時の設定経路での旋回、 泊地での回頭、離接岸時に必要な 船舶機動性能などの確認
暴風時等の避難計画	係留限界風速等の設定
周辺利用者との調整	入出港時の周辺・航路利用調整等

松山港におけるクルーズ振興の進め方(案) (1/2)

分野	No.	課題	対応策（短期）～2018年	対応策（中長期）2019年～	対応者
寄港に誘致して活動	1	<p>効果的な誘致活動</p> <p>クルーズ船誘致のためには、クルーズ船社と直接面談する商談会への積極的な参加をはじめ、船社、旅行会社等の訪日の機会を利用したPRや、地元へ招待するなど、あらゆる機会を通じた誘致活動が求められる。</p> <p>また、クルーズ船誘致のためには、地元観光業者、飲食店、レクリエーション施設等、多様な地元関係者が魅力的な観光地に育てていけるよう、クルーズ船の誘致への関心を高める必要がある。</p>	<p>・商談会への積極的な参加。</p> <p>・地元のクルーズ船への関心を高めるために、新聞、テレビ、自治体の広報紙、ホームページ、ダイレクトメールを活用し、市民へクルーズ船入出港スケジュールとイベント情報を発信。</p>	<p>・松山の魅力を活かすとともに、しまなみ海道のサイクリングツアーなど、周辺の観光資源と連携したクルーズプラン等の提案などによる誘致活動を実施。</p> <p>・国内外の船社・旅行代理店を通じたPR、海外クルーズ船社の寄港決定者を地元へ招待してPR。また、初寄港となるクルーズ船については、港湾部局の技術担当職員同行の下でPRを実施。</p>	<p>・愛媛県</p> <p>・松山市</p>
			-	<p>【クルーズ船への理解・関心を高める取組例】</p> <p>例) 地元生徒と乗船客の交流を図るため、学生のボランティアによる外国語を用いた案内等を実施。</p>	-
寄港に誘致して活動	2	<p>クルーズ船の旅客の港に対する好感度を高め、クルーズ船の寄港の増加・定着につなげていくため、官民が一体となって誘致や受入体制の充実を図るための推進体制の構築が必要である。</p> <p>例えば、クルーズ船寄港時にクルーズ船旅行者による港や背後地へのアクセス向上や、大型クルーズ船寄港時において大量のバス・タクシーの確保が必要となる場合がある。</p> <p>また、クルーズ船旅行者の港への印象度を高めるために、市民やボランティア団体などによるおもてなしの充実も求められる。</p>	<p>・クルーズ船の積極的な誘致や入港から出港までを通じたおもてなしの一層の充実等に取り組むため、官民からなる推進体制を構築。</p>	同左	・地元関係者
			<p>【受け入れサービスの充実例】</p> <p>例) 最寄り駅までのシャトルバスの運行。</p> <p>例) 各観光箇所と一般来場者用に必要となる駐車場を事前確保。</p> <p>例) 大型船寄港時には、バス・タクシーの他県への要請を実施。</p> <p>例) 路面電車・JR等の一日乗車券、埠頭内での外貨両替を実施。</p>	<p>【受け入れサービスの充実例】</p> <p>例) オプションバスツアーの市街地周遊により引き起こされる渋滞を緩和する方策の検討。</p> <p>例) 「クルーズファンクラブ」を創設し、会員等を活用した観光案内通訳者の養成。</p>	-

松山港におけるクルーズ振興の進め方(案) (2/2)

分野	No.	課題		対応策（短期）～2018年	対応策（中長期）2019年～	対応者
受け入れ施設について	3	クルーズ船旅行者に対する観光情報サービスの適切な提供	クルーズ船旅行者の満足度を向上させるためには、旅行者のニーズの高い環境を整備していくことが求められる。	<ul style="list-style-type: none"> ・クルーズ船着岸が想定されている岸壁においては、モバイル型Wi-Fi機器の準備等必要な対応を図る。 【松山港外港地区岸壁(-10m)】 ・主要駅、バス停、集客施設等を中心に周辺観光案内の多言語表記の標識を設置する。 	同左	<ul style="list-style-type: none"> ・愛媛県 ・松山市
			訪日外国人からのWi-Fi環境の要望は非常に高い上、Wi-Fi環境が整っていると、クルーズ船旅行者による情報発信が促進され、全世界へのPRに繋がる可能性もある。			
	4	C I Q手続き時の旅客負荷	松山港外港地区岸壁(-10m)は、旅客ターミナル等の施設がないため、C I Q手続きを屋外で実施せざるを得ず、旅客への利便性が損なわれている。	・クルーズ船寄港の際は、港湾管理者（愛媛県）においてC I Q手続きを行うための仮設テント等の用意等必要な対応を図る。	—	・愛媛県
	5	国際埠頭施設への大型バス等受け入れのための対応	松山港外港地区岸壁(-10m)は、国際船舶・港湾保安法に基づく保安対策のため、立ち入り制限区域を設けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・外航クルーズ船寄港の際は、大型バスや一般市民が安全に埠頭内に入ることができるように、港湾管理者が四国地方整備局と協議し、「埠頭保安規程」を変更するなどにより、仮設フェンスの用意等必要な安全措置を講ずる。 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・愛媛県 ・四国地方整備局
	クルーズ船寄港の際は、大型バスや一般市民が安全に埠頭内に入ることができるように、制限区域のレイアウト変更の調整が必要。					
	6	港湾貨物とクルーズ船との競合	松山港外港地区岸壁(-10m)は、RORO船、PCC船が利用しているため、クルーズ船着岸にあたっては利用者との調整が必要。	<ul style="list-style-type: none"> ・クルーズ船社等から寄港要請があり次第、港湾管理者は速やかに岸壁利用者（船社・荷主・港運関係者等）に情報提供するとともに、クルーズ船寄港日を決定するための日程調整を行う。 	同左	・愛媛県
	松山港高浜地区岸壁(-8m)は、毎日フェリーが利用しているため、クルーズ船着岸にあたっては利用者との調整が必要。					
	7	クルーズ船の大型化に対する港湾施設の対応	松山港外港地区岸壁（-10m）において、10万トン以上の大型のクルーズ船を受け入れるためには、係船柱・防舷材の改良および泊地浚渫が必要。	<ul style="list-style-type: none"> ・大型のクルーズ船（10万トン以上）を受け入れられるよう、必要となる係船柱・防舷材の改良および泊地浚渫について、関係機関が協力して2018年内に整備する。 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・愛媛県 ・松山市 ・四国地方整備局
8	クルーズ船受入に対する航行安全性の確認	クルーズ船が安全に入出港できるよう、泊地や岸壁延長等の施設規模や船舶操縦性等、航行安全上の技術的な確認をするとともに、利用者との調整を図る必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・入港する船舶の船型が明らかになり次第、必要に応じ、航行安全性を確認し、必要な措置を講ずる。 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・愛媛県 ・四国地方整備局 	